

# 日程

雨天の時は、十和田市民センター体育場において行います。但し、会場変更に伴い、時間の変更を行うことがあります。

月日	内容	時間帯	
8月21日 (月)	第52回子供盆踊りコンクール	午後5時00分～6時00分	
	呼び太鼓	午後7時00分～7時40分	
	毛馬内盆踊り	大の坂踊り	午後7時40分～8時20分
		甚句踊り	午後8時20分～9時00分
8月22日 (火)	「鹿角の昔っこ語り」	午後6時00分～7時00分	
	呼び太鼓	午後7時00分～7時40分	
	毛馬内盆踊り	大の坂踊り	午後7時40分～8時20分
		甚句踊り	午後8時20分～9時00分
8月23日 (水)	わらしこ・めらしこ盆踊り合同披露	午後5時00分～5時30分	
	呼び太鼓	午後7時00分～7時40分	
	毛馬内盆踊り	大の坂踊り	午後7時40分～8時20分
		甚句踊り	午後8時20分～9時00分
	毛馬内じょんから踊り	午後9時00分～9時10分	

けまない

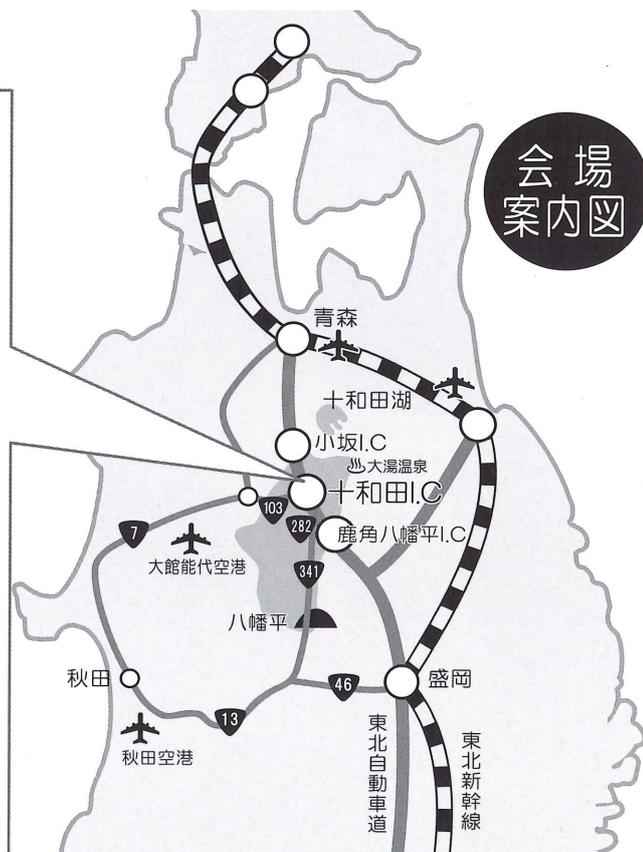
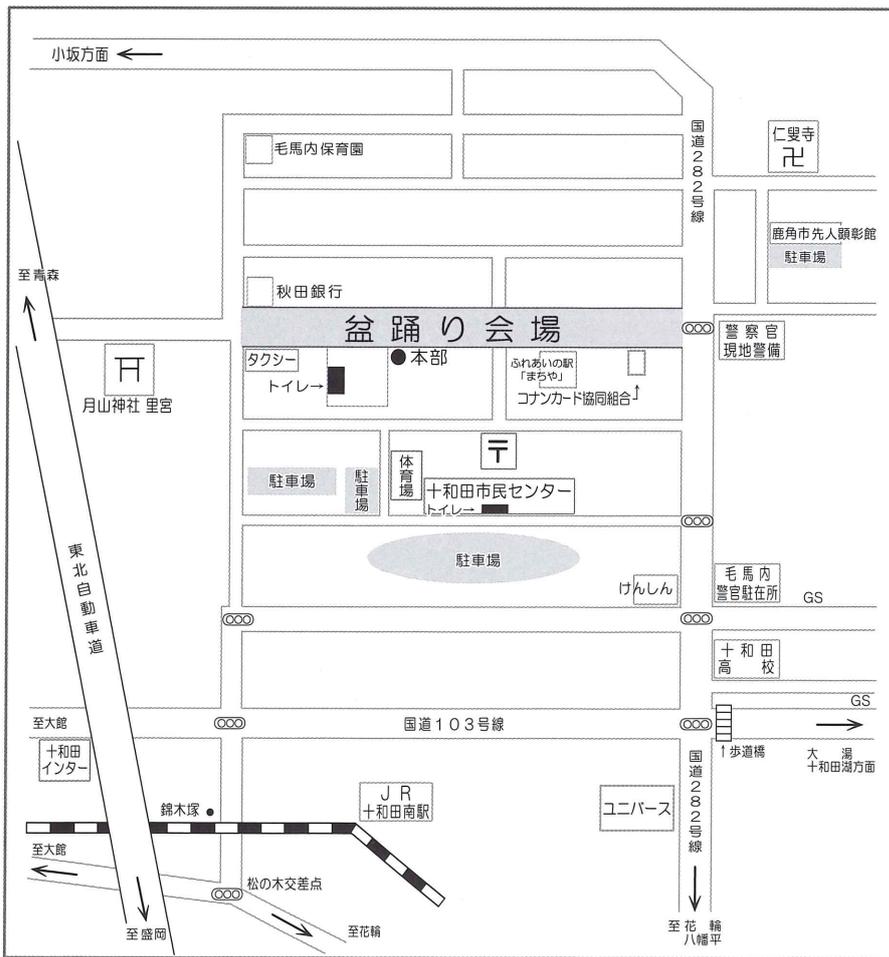
# 毛馬内盆踊り

ユネスコ無形文化遺産  
国指定重要無形民俗文化財

秋田県三大盆踊り（西馬音内・一日市・毛馬内）の一つとして長年伝承されている毛馬内盆踊りは、大太鼓と横笛のはやしで踊る「大の坂」と無伴奏の唄のみで踊る「甚句」の二つと、最後にほんの数分踊る「じょんから」で構成されている。「大の坂」は京都の念仏踊りの流れをくむと言われ、「甚句」は南部領だった約450年前に戦いから帰った将兵たちをねぎらったのが始まりとされている。「じょんから」は明治以降、弘前に陸軍の連隊があった頃、入営した青年たちによって移入した踊りであるという。

こもせ通りでかがり火を囲み、少しずつ左へ移動する輪踊りで、常に内側を向いてゆったりとしたテンポで優雅に踊るさまは、なんとも言えない風情がある。また、たんすの底を着ると言われる踊り手は男女とも豆絞りの手拭いで頬破りをし、紋付きや留袖に蹴出し、きらびやかな帯で踊る衣装が特徴である。

◎踊りの輪の中に入って撮影する場合は撮影許可証の購入をお願いします。撮影時は係員の指示に従って制限時間内に撮影していただきます。（ポーズの指定等はできません）



## 会場案内図

■主催  
毛馬内盆踊り振興会  
毛馬内北の盆2023実行委員会

■後援  
鹿角市、かづの商工会、大湯温泉観光協会  
秋田魁新報社、雫鹿新聞社、雫米代新報社

### ■お問い合わせ

コナカード協同組合 内毛馬内北の盆2023事務局 〒018-5334 秋田県鹿角市十和田毛馬内字毛馬内7 TEL 0186-30-3939  
<http://www.ink.or.jp/~kemanai09/>